

情報専門学科におけるカリキュラム標準J07の進捗状況

情報処理学会情報処理教育委員会委員長
 寛 捷彦(早稲田大学理工学術院)

- **2007年8月に中間報告書**を刊行。CS, IS, SE, CE, IT の5領域について、その知識体系 (Body of Knowledge) をまとめ、必須項目 (core)を相当授業時間数とともに示した。米国でのカリキュラム標準 CC2005 (IEEE Computer Society と ACM が 2001～2005 に掛けてこの5領域にわけてまとめたもの)を出発点として日本での状況に合わせた。
 - **産業界向けに説明会**を開催(2007年12月26日)。J07についてのコメントを募集(2008年1月末日締切)。集まったコメントはとりまとめて J07 最終報告と対比できる形に整理する。2008年度に入って、J07 最終報告書を基準参照としてコメントに対する学会側の考え方を提示することから始めて、産学での専門学科教育に対する協同を進めたい。
 - **2008年3月に最終報告**を全国大会を期に PDF の形で公表。必須項目をすべて含んだ科目群を、そのシラバス記述の形で提示する。情報専門学科教育についての産学での議論における基準参照文書と位置づけたい。誤記の訂正などを経て、冊子(+CD ROM)の形で刊行する(7月ごろ)。
- 非専門学科の情報教育カリキュラム標準にも取り組む。2008年3月の最終報告には、一般教育としての情報教育(GE)も収録。2008年度には、**理工系基礎として情報教育**、非専門学科での**副専攻としての情報教育**のカリキュラム標準を検討し策定する。産業界からの意見もいただけるとありがたい。

2008-12-26 説明会参加者

区分		申し込み	参加実績
レビュー依頼	日本情報システム・ユーザー協会 (JUAS)	14	13
	コンピュータソフトウェア協会 (CSAJ)	8	8
	日本経済団体連合会 (JEITA代表と兼ねて)	6	5
	情報サービス産業協会 (JISA)	5	5
	電子情報技術産業協会 (JEITA)	2	2
	パートナーシップ情報処理分科会委員	2	2
その他	METIからの紹介等	4	10
参加者計		41	45
情報処理学会			3
情報処理学会(発表者)			6
METI、文科省			3
IPA(セキュリティセンター、SEC、OSS、JITEC、国際G)			8
IPA(事務局)			4

合計人数 69

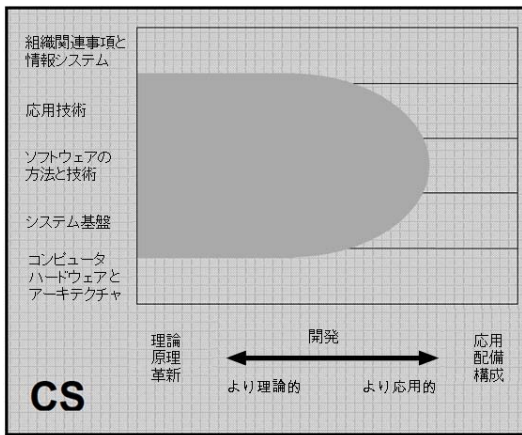


図 2.4 コンピュータ科学

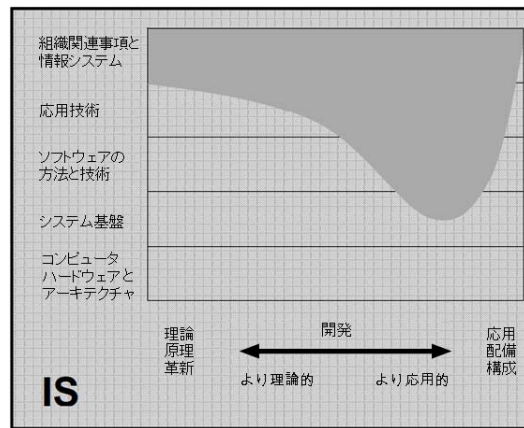


図 2.5 情報システム

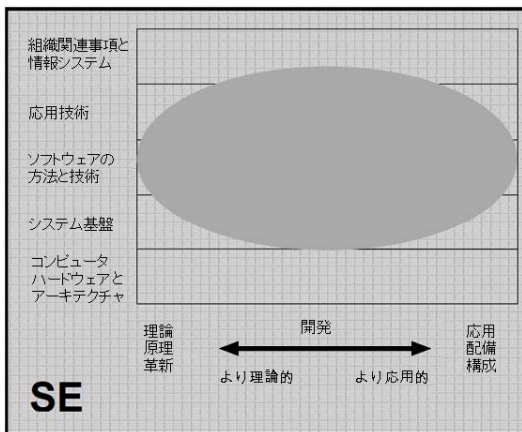


図 2.7 ソフトウェアエンジニアリング

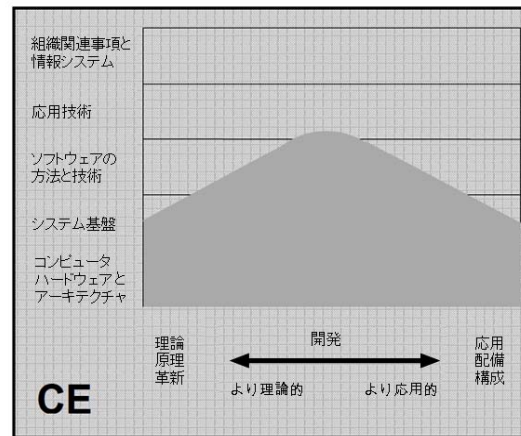


図 2.3 コンピュータエンジニアリング

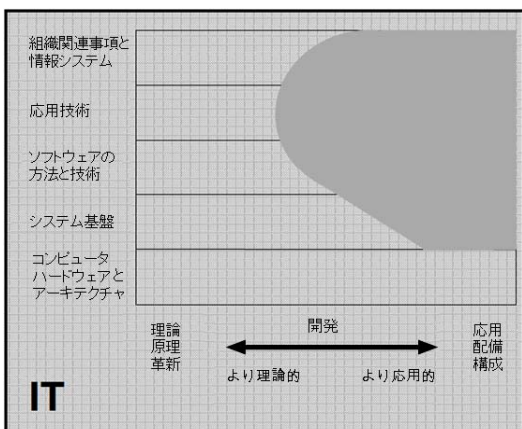


図 2.6 インフォメーションテクノロジー